

# 脳出血で入院された患者様へ

- ・治療の状態によってはこの通りでないこともありますので、医師、看護師にお尋ねください
- ・詳細につきましては、入院された後、看護師より説明させていただきます

患者氏名 \_\_\_\_\_ 様

経過	入院1～2日目	入院3日目	入院4～7日目	入院8～10日目	入院11～17日	
日時	( / ~ / )	( / )	( / ~ / )	( / ~ / )	( / ~ / )	
目標	出血が拡大しない 血圧が安定する 誤嚥性肺炎を起こさない 入院生活を理解できる 治療内容がわかり、安静を守ることができる				退院後の生活に不安がない	
検査	頭部CT(入院1日目) 	頭部CT・採血  	頭部MRI(入院5日目)  採血(入院7日目) 	頭部CT(入院10日目) 		
治療	入院時から24時間の持続点滴が開始になります。点滴ポンプを使用し、持続的に降圧剤の注射を行う場合があります 入院2日目から降圧剤の内服が開始になります  	血圧の値を見ながら、降圧剤の量を調節します	ご飯が食べれていれば、入院4日目より点滴が終了となります			
説明・観察	患者誤認予防のため、リストバンドを装着します 看護師が、これまでの経過や入院時の症状について聞きます 入院の流れと、入院生活に必要な物品等、看護師から説明があります。不明な点があれば、遠慮なくお申し出ください 薬は医師が内容を確認します。薬は全て看護師に預けてください。必要に応じて看護師で管理することもあります 1日の尿の量を確認します。方法は看護師が説明します 心電図モニターを装着します 	歩き始めて、問題なければ心電図モニターを外します	継続してリハビリもしくは療養が必要な場合は、専門病院へ転院となります。 転院が必要な場合、医師から説明後、転院支援の担当者と面談があります ですのでご検討ください。通院でのリハビリを希望される場合は、お声をおかけください	薬剤師から現在内服している薬について説明があります 退院の場合は、退院後の生活について看護師から説明があります。希望される場合は、退院後の食生活等について、管理栄養士から説明を受ける事ができます。事前に予約が必要です 	《退院時》 次回外来受診についてご説明します。 退院日に、書類とお薬をお渡しするので、お持ち帰りください 入院費用の詳細は病棟事務員にお尋ねください	
処置	出血拡大の悪化を早期発見・対応するために、血圧や神経所見の観察を頻回に行います。状態が安定すれば、検温の回数は減ります 深部静脈血栓予防のため、弾性ストッキングを着用していただくことがあります  					
清潔	温タオルでの体拭き可 		シャワー浴可 入院6日目から、シャワー浴が可能になります。シャワー室の使用方法について、看護師から説明があります 			
活動	ベッド上安静 尿・便は、ポータブルトイレを使用します。便意・尿意を感じたら、看護師にお声掛けいただくか、ナースコールを押してください 脳出血を発症すると、手足が動きにくくなる事があります。安全の為、発症後しばらくは1人で移動しないようお願いします 	車椅子移乗可 血圧が安定すれば、車椅子への移乗が可能となります 	病棟内歩行可 看護師もしくはリハビリ担当者の付添の下、病棟内の歩行が可能になります 	院内歩行可 歩行状態が安定していれば、院内歩行が可能になります。病棟から離れる際は、看護師に声掛けをお願いします 尚、院外へ出られる際は、主治医の許可と外出届が必要です		
食事	絶飲食 脳出血を発症すると、物が上手く飲み込めなくなることがあります。水分や食物が気管や肺に入ると、肺炎になる場合もあります。発症後に初めて水分や食物を摂る際は、問題無く飲めているか確認する必要があります。医師・看護師の許可無く水分や食事を摂らないようにしてください 水飲みテスト 少量の水を飲み、飲みこみの機能を確認します。 問題がなければ、2日目の昼食から食事摂取が可能になります 飲みこみに問題無ければ、水分をしっかりとるようにしてください 		食事について 入院中、病院からできる食事を摂るようにしてください。持ち込み食を摂取されたい場合は、医師に確認しますので看護師にお声をおかけください 食事形態や主食についてご要望があれば、お申し出ください			